

こども夢・チャレンジ推進事業



こども未来部 こども政策課
 子育て世代包括支援センター
 教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 34,920千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

○夢にチャレンジ助成金支給事業 2,073千円(こども政策課)

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対象】15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等及び市内在学の学生。本人もしくは、保護者が住民登録等。
 (市内在学の場合は住民登録がなくても可。)

【助成額】上限30万円

自分の夢を自ら考え、その夢を発表する場を設け、将来助成金を利用してもらう契機とします。

【対象】市内在住の中学生

【発表記念品】 図書カード1万円分 【参加記念品】 図書カード1千円分

○大学生等海外留学奨学金支給事業 4,850千円(こども政策課)

海外の大学等に、3ヶ月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等。本人もしくは、保護者が住民登録等。

【助成額】留学先の国・地域に応じて、12ヶ月を上限として、月額4～5万円を支給。

○学習支援事業「駒来塾」 4,167千円(こども政策課)

経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対 象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教 室】 東部地区(篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中)

北里地区(北里中・小牧西中)

味岡地区(味岡中・岩崎中)

小牧地区(小牧中・応時中)

【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

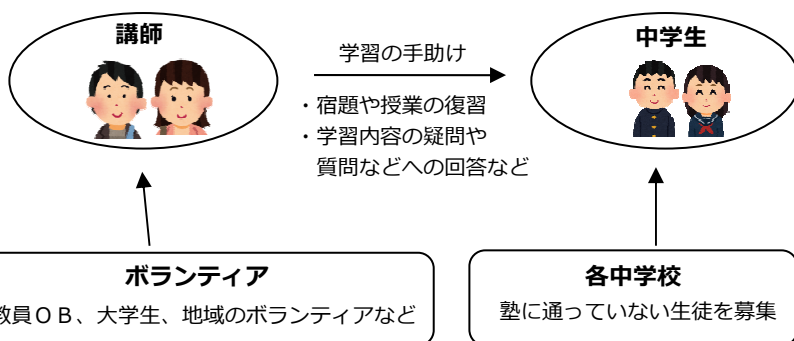
【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、

味岡市民センター、中部公民館

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 11,530千円(学校教育課)

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施します。毎年、小学校5年生を対象としますが、新型コロナウイルスの影響により令和3年度に開催できなかった小学校6年生も対象とし、子どもたちの心身の成長を図ります。

○ひとり親家庭等支援事業 12,300千円(こども政策課、子育て世代包括支援センター)

ひとり親家庭等のこどもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

ひとり親家庭等支援事業

ひとり親家庭等入学支援金給付事業12,000千円(こども政策課)

ひとり親家庭等のこどもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。



ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

300千円(子育て世代包括支援センター)

高校を卒業していないひとり親家庭の20歳未満の児童を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。

充実

子育て世代包括支援センター運営事業



こども未来部 子育て世代包括支援センター

1 予算額 182,910千円

2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要

① 母子保健型利用者支援事業 7,213千円

1)利用者支援事業 310千円

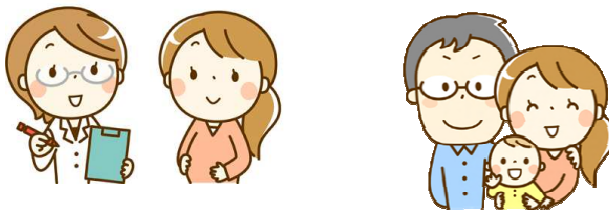
妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、関係機関と協力してサポートプランの作成やサービスの調整などを行います。

2)セカンドブック事業 6,653千円

1歳の誕生日の節目にサポートプランを見直して、育児相談や必要な情報提供等の支援を行い、保護者の育児不安を取り除きます。また、絵本をプレゼントすることで、読み聞かせを通して、親と子の愛着形成を促進し、親と子の自己肯定感を育みます。

3)新規妊産婦巡回バス乗車支援事業 250千円

妊産婦を対象に、こまき巡回バス「こまくる」に無料で乗車することができるフリーパスを配布し、巡回バスの利用促進を図るとともに妊産婦の外出を支援します。



② 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 127,650千円

妊婦・胎児、産婦・乳児に対する健康診査等にかかる費用を助成することで、健康診査を受診勧奨します。また、健康意識を高めるとともに、疾病の早期発見・早期治療を促進し、安心して出産・育児ができるようにします。

③ 充実 妊娠・出産包括支援事業 5,832千円

産後うつ対策として、産後に心身の不調又は育児不安があり、家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、産科医療機関等に宿泊及び通所し、心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができるように支援します。また自宅等に訪問する育児サポートも実施、産婦のニーズに合った支援を行います。

④ 産前産後ヘルパー派遣事業 720千円

妊娠中から産後6ヶ月(多胎の場合は12ヶ月)にかけて、夫や祖父母など周りからの子育て支援が見込めない家庭にヘルパーを派遣して家事支援を行います。

⑤ 一時預かり事業 25,076千円

保護者の外出や育児に伴う負担などの理由で、家庭で保育することが困難な場合や子育て中の保護者のリフレッシュのため、生後6ヶ月から就学前の乳幼児を子育て世代包括支援センター内で4時間を限度に預かります。

⑥ 子ども家庭総合支援拠点事業 11,165千円

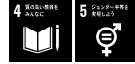
児童虐待等に対して迅速に対応できるよう、児童虐待対応専門員、家庭児童相談員を配置します。

⑦ 女性相談事業委託 5,254千円

女性相談に寄せられた情報を速やかに共有し、必要な支援に繋げるため、子育て世代包括支援センター内に女性相談窓口を設置し、児童虐待とDV等への対応を一体的にサポートできる体制を整備します。

充実

放課後子ども総合プラン運営事業



こども未来部 こども政策課

- 1 事業年度 令和4年度～令和6年度
- 2 予算額 4,702千円
- 3 目的及び効果 全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども総合プランの導入を進めます。

4 事業概要

事業年度	事業内容
令和3年度	・2小学校(小牧・光ヶ丘)においてモデル事業を実施 ・全校実施に向けた導入計画を策定
令和4年度	・6小学校(小牧・三ツ淵・味岡・篠岡・小牧原・光ヶ丘)において実施
令和5年度	・12小学校において実施
令和6年度	・全校実施

【放課後子ども総合プラン】

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備等を進めることとして、平成26年度に策定されたもの。



1 予算額 148,737千円

2 目的及び効果

「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指して運営します。

3 主な事業概要

(1) 充実 子ども未来館講座開催委託

地域のサポーターや企業、大学などと協力し、体験ひろばにおいて、遊びや体験を通じて子ども達自身の学びにつなげられる講座を開催します。また、令和4年度より、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援する「こまきこども未来大学」やものづくりに携わる人材を育成する「少年少女発明クラブ」を実施します。

(2) こまき巡回バス運賃負担

市内全域の児童が気軽にこまきこども未来館に来館できるよう、こまき巡回バス「こまくる」を利用した際の児童の運賃を市が負担します。



充実

BCG予防接種個別接種化事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 12,422千円

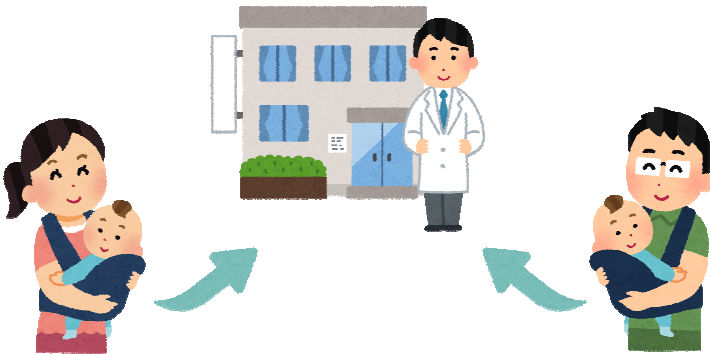
2 目的及び効果



BCGワクチンを個別接種化することにより、より安心安全に接種できます。お近くの小児科やかかりつけ医において、健康状況を的確に把握した上で接種し、接種後のフォローも十分に対応でき、被接種者(乳児)の健康維持に貢献します。

3 事業概要

BCG予防接種は、保健センターにおいて集団接種方式で実施してきましたが、被接種者(乳児)の健康管理に有利であることから、国の方針に従い、予防接種をしている医療機関で実施する個別接種方式に変更します。



充実

子宮頸がんワクチン接種事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 169,114千円

2 目的及び効果 子宮頸がんワクチンを接種することにより、子宮頸がんの発生と関連が深い一部の型のヒトパピローマウイルス感染を予防することができます。



3 事業概要

小学6年生から高校1年生相当年齢の女性を対象にして、予防接種実施医療機関にて無料で接種できます。

● 新規キャッチアップ事業

平成25年6月から積極的な接種勧奨が中止されていましたが、令和4年度からは再開されることから、中止されていた期間に接種対象者であった、平成9年度から平成17年度生まれの9学年で、今までに接種をしていない女性を対象に、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間を接種期間として無料で接種できます。



充実

子ども医療費助成事業



福祉部 保険医療課

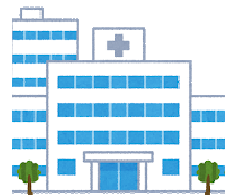
1 予算額 48,009千円

2 目的及び効果 高校生等の入院分に加え、通院分も助成することで、医療費にかかる保護者の経済的負担を軽減します。

3 事業概要 現在、高校生等の入院にかかる保険診療の自己負担額を無料とする助成を償還払いで行っていますが、令和4年9月診療分から新たに通院分を助成するとともに、対象者へ「受給者証」を改めて交付することで、医療機関窓口における支払いを無料化します。

- ① **新規** 高校生等の通院分助成 41,700千円(5か月分)
- ② 高校生等の入院分助成 5,759千円
- ③ 審査支払手数料 550千円

【高校生等】…15歳に達した日の翌日以後の最初の4月1日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者



充実 スクールソーシャルワーカー配置事業



教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 14,952千円

2 目的及び効果 スクールソーシャルワーカーを1名増員し、貧困やネグレクト、ヤングケアラーなどといった家庭環境に要因がある児童生徒の支援体制を強化します。

3 事業概要 社会福祉士または精神保健福祉士の資格を持つスクールソーシャルワーカーを、学校からの要請に基づき教育委員会が必要と判断した学校へ派遣します。スクールソーシャルワーカーは、児童相談センターや社会福祉協議会、病院、警察などの関係機関と連携協力し、児童生徒が置かれた環境へ働きかけることで、不登校などの問題行動に対する支援を行います。

訪問活動回数

体制	1名体制			2名体制			3名体制
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
訪問活動回数	86	259	463	746	539	—	—

新規

保育園等職場環境向上事業



こども未来部 幼児教育・保育課

1 予算額 5,743千円

2 目的及び効果 保育現場における業務の負担軽減とICT(情報通信技術)の活用を推進するため、公立保育園、第一幼稚園にWi-Fi環境を整備し、各園にタブレット端末などのICT機器の配備を行います。

3 事業概要

各園にタブレット端末を1台、各クラスに小型のモバイル端末を1台配備します。

オンライン会議への参加やオンデマンド研修の受講、保育室や園庭での日常的な子どもたちの姿を写真等にて記録し、保護者に向けた情報発信に活用するとともに、研修・研究に活用し保育の質の向上に繋がります。



頑張る保育士応援手当の創設(令和3年度3月補正)

共働きの増加などによる保育需要の増大に加え、新型コロナウイルス感染症への対応が重なり、保育現場の業務負担が大きくなっている現状において、保育士のモチベーションアップを図るため、保育業務に対する業務手当を新設します。

【支給額】 正規職員の勤務時間を基本として、毎月9,000円支給
(勤務時間に応じた支給額の調整あり)

※私立保育園等については、国の処遇改善臨時特例事業に基づき補助を行う。

